

## パルワン県における地雷・不発弾処理事業(第3次)写真集

### 1. 処理作業

前事業に引き続きMF 3 5 6 を処理し、事故無く任務を全うすることができました。



探知作業、処理作業は黙々と進捗しています。岩場の所々で地雷が埋まっており、今次事業間に対人地雷 191 発、不発弾 28 発を処理しました。



探知したイラン製対人地雷YM-1型です。

## 2. 機資材の整備



毎月、個人用装備セット品も全部点検し整備します。救急車内部の器材も毎日点検を行います。今回は、他NGOに譲渡するため、念入りに整備を行いました。



整備以外に最近の事故発生状況、事故防止施策について説明する等必要な教育を行います。

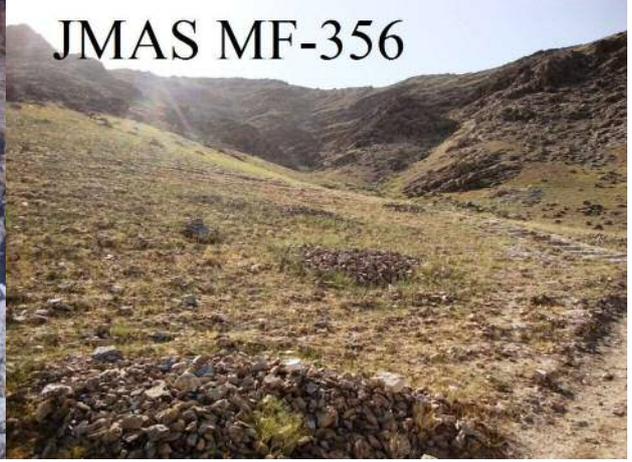
## 3. 跡地の利用状況



処理地は山地裾部から山腹部に掛けての地域で主に放牧地として利用されています。



再稼動された碎石工場



JMAS MF-356

住民の通行路としても利用されています。



地域住民も治療に訪れます。

#### 4. MRE（地雷回避教育）

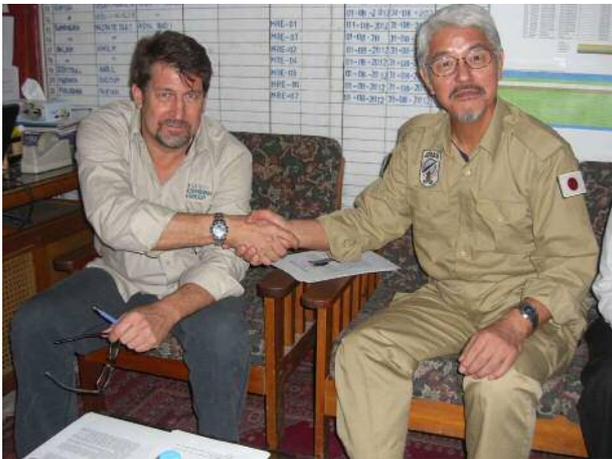


10月に事業地近傍のカラチャ村でMREを行いました。右は地雷の模型と配布用の文房具です。



最後のMREを宿舎のあるカライヤデワナ村で行いました。

## 5. 物品の移譲



左；譲渡先のDDGとMOUを締結しました。

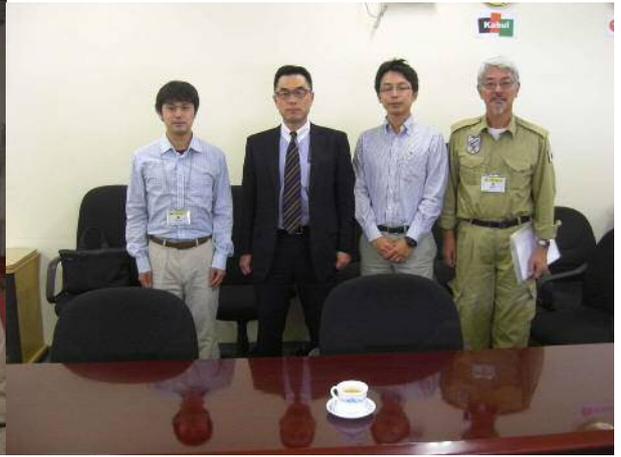
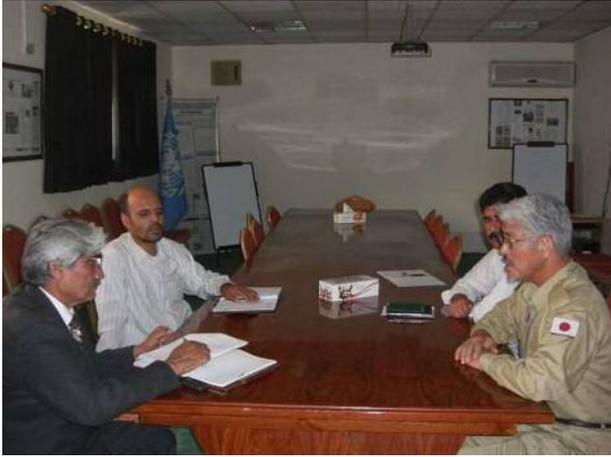
右；経済省から点検官が派遣され譲渡点検を受けました。DDGの兵站部長も立会し、異常のないことを確認しました。



左；無線機の点検

右；個人用セットの点検

この他に、地雷探知器、防護服、車両などの点検も受けました。



左；MACCA長とDMC長代理から移譲について助言を得ました。  
 右；現地日本大使館にカブール出張の都度報告を行い、指導を得て移譲作業を進めました。

## 6. 式典

### (1) 処理チームの解散式



バグラム郡役場代表挨拶



地域住民代表挨拶



現場責任者ジェラニー挨拶



全処理員に対し現地代表の感謝状を交付しました。



参加者全員で会食しました。部屋が狭いので3つに分かれて行いました。

## (2) 事業終了式

アフガニスタン事業の終了を記念してJMASカブール事務所で終了式を行いました。



高橋大使（左）、MACCA長（右）からそれぞれ挨拶を頂きました。



左；MACCA長から感謝状を頂きました。

右；現地代表から特に功績のあった隊員を表彰しました。



経済省NGO局長（右）からお礼の言葉を頂いた後、全員で会食をしました。

## 7. JMAS活動の広報 (1) JICA



KBLのJICA関係者に対し主として地雷の探査についてお話ししました。

## (2) 日本人学校生徒



イスラマバード日本人学校では現地教育を行っていますが、その一環として、地雷の危険性等についてお話しする機会を頂きました。



生徒達と

## 8、現地スタッフとの調整



処理員達は雇用の継続を強く求めていましたが、説得に努めました。



左；最後まで熱心に勤務した現場責任者のジェラニー（左）と事務所責任者のアリ（中）です。JMAS事業の大きな原動力でした。  
 右；カブール事務所全員（警備員、運転手等も含む）との最後の集合写真です。彼等の今後の生活が案じられます。